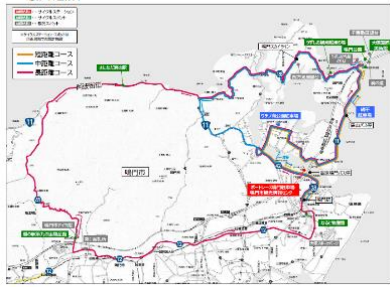



【資料①】地方創生推進交付金・地方創生加速化交付金実績

| No. | 交付金対象事業名 | 事業概要 | 事業内容 | 事業費（円） | 交付対象経費（円） | 重要事業評価指標 | | |
|-----|--|--|---|------------|------------|---|----------|----------|
| | | | | | | 評価指標 | 目標値 | 実績値 |
| 1 | ASAトライアングル（南あわじ・鳴門・東かがわ）を結び、サイクリングツーリズム推進事業 〈推進交付金〉 | 現在、しまなみ海道や淡路島において盛んに行われているサイクリングツーリズムを圏域に呼び込むため、南あわじ市と鳴門市の間の自転車輸送の実現をはじめ、3市をつなぐサイクリングロードを設定し、多言語表示板の設置、レンタサイクルなどの環境整備やPRを行うことにより、3市の交流人口を増加させるとともに、サイクリングやランニング等気軽にスポーツに親しむことによる健康づくりと地域経済の活性化を図る。 | <p>①ASAサイクリングツーリズムについて、サイクリングコースや自転車輸送等の内容を盛り込んだ事業計画を策定。</p> <p>②ランニングイベントとして、ハーフマラソンの実施に向けての検討及び事業計画の策定。</p> <p>③子供やスポーツ指導者等多くの市民が気軽に行える体幹トレーニングを推進するための事業計画の策定。</p> <p>(2) 鳴門市内コース ①コース 全体図</p>  <p>サイクリングコース</p> | 13,082,712 | 13,000,000 | ①3市の交流人口増加数 ②南あわじ・鳴門間を渡った自転車台数 | ①— ②— | ①— ②— |
| 2 | 「四国のゲートウェイ化」推進事業（四国のゲートウェイを起点とした「おどる宝島★とくしま観光・文化プログラム」発信戦略） 〈推進交付金〉 | 本市が名実ともに四国のゲートウェイとなるため、四国の食、祭り、文化等を紹介するイベントや本市の魅力を発信する広報、市内の幹線道路に、民間事業者等と協力し、産直市や観光案内施設、休憩所などを交流拠点施設として整備できる環境づくりを行う。 | <p>①本市を四国の玄関口とするための、イベント開催や拠点整備を盛り込んだ四国のゲートウェイ事業計画を策定。</p> <p>②本市の玄関口の一つである、鳴門駅のロータリー改修の実施計画を策定。</p>  <p>ゲートウェイ事業計画</p> | 8,337,600 | 8,000,000 | ①5年間の延べ宿泊者の増加人数（万人） ②5年間の外国人延べ宿泊者の増加人数（万人） | ①— ②— | ①— ②— |

【資料①】地方創生推進交付金・地方創生加速化交付金実績

| No. | 交付金対象事業名 | 事業概要 | 事業内容 | 事業費（円） | 交付対象経費（円） | 重要事業評価指標 | | |
|-----|---|--|--|--|--|--|------------------------------------|--|
| | | | | | | 評価指標 | 目標値 | 実績値 |
| 3 | 「なると第九」及び板東俘虜収容所の歴史を活用したローカルブランディングの推進事業 ＜加速化交付金＞ ＜推進交付金＞ | 本市では、「アジア初演「なると第九」ブランド化プロジェクト」を策定しており、その中で産学官民連携のもと、各種取組を実施する。具体的には、「なると第九」のブランド化を促進するユネスコ世界記憶遺産への登録推進や演奏会の実施、「なると第九」を活用したツアー開発や土産品・グッズ開発などの実施による周知啓発、「なると第九」100周年に向けた準備と100周年でのイベント開催などを実施する。 | ①申請の対象となる資料の整理・選択と台帳作成・台帳用写真撮影を行った。 ②県教育委員会と共同で「板東俘虜収容所関係資料」ユネスコ「世界の記憶」調査検討委員会を開催した。 ③保存公開の目的で、対象資料のレプリカ作成に着手した。 ④申請対象資料をデジタル化しWEBで公開した。 ⑤ユネスコ「世界の記憶」に関する企画展示やイベントを通して周知啓発に取り組んだ。 ⑥ドイツ・リューネブルグ市所蔵資料の調査と、リューネブルグ博物館で開催される企画展に協力した。 ⑦観光産業化推進（「なると第九」ツアー開発、商品開発、ドイツ館イルミネーション） ⑧次世代育成（幼小中での「なると第九」現地学習・歴史学習・合唱講習、ジュニア演奏会実施準備） ⑨啓発PR（巡回パネル展開催、県内外イベントでのPR活動、広報啓発グッズの作成配布、メディアを活用した広報活動、市内各所に誘導案内・PR看板設置） ⑩演奏会実施（文化会館演奏会、大塚国際美術館演奏会、アフター交流会、第4回「第九」里帰り公演へのドイツ兵捕虜子孫招待） ⑪収容所跡地環境向上（史跡表示標柱設置） | ＜加速化交付金＞ 35,254,086 ＜推進交付金＞ 1,506,600 | ＜加速化交付金＞ 35,000,000 ＜推進交付金＞ 1,500,000 | ①ドイツ館周辺に来る観光客数 ②第九を歌える園児・学生の人数 ③ユネスコ記憶遺産への登録 | ①75,000人 ②1,000人 ③資料のデジタル化完了 | ①76,050人 ②1,143人 ③登録申請予定の鳴門市ドイツ館所蔵資料主要部分について、デジタルアーカイブ化しインターネット上で公開。 |



第九初演時プログラム

【資料①】地方創生推進交付金・地方創生加速化交付金実績

| No. | 交付金対象事業名 | 事業概要 | 事業内容 | 事業費（円） | 交付対象経費（円） | 重要事業評価指標 | | |
|-----|---------------------------------------|---|--|------------|------------|---|-------------------------------------|-------------------------------------|
| | | | | | | 評価指標 | 目標値 | 実績値 |
| 4 | 鳴門の地域資源の販路開拓を主とした新産業の創出事業 ＜加速化交付金＞ | <p>新たな雇用の場として市内産業の育成や新産業の創出が必要であり、本市としては四国の玄関口であることや優れた一次産品が多く存在することなど鳴門の地域特性を活かした仕事の創出が求められる。</p> <p>そこで鳴門の四国の玄関口としての交通利便性と、優れた一次産品が豊富にあるという特色を活かし、鳴門産品の販路拡大を主とする新産業の創出を目指した施策を展開する。</p> | <p>①鳴門の産品を東京で利用してもらうため、セントラルキッチン方式の事業を展開するNaruto Baseへの設立を支援。地方創生大臣等も視察に訪れた。</p> <p>②農業6次産業化を進める事業2件に支援。</p> <p>③ぐるなびを活用し、市内事業者の販促ツールの作成やプロモーション活動を都内で実施。</p> <p>④なるとビジネスプランコンテストを開催。グランプリ1件、準グランプリ1件を選出した。</p> <p>⑤東京で開催された商談会「地方銀行フードセレクション2016」のブースを購入して、市内事業者4社を出展させた。</p> <p>⑥市内JA及びなると物産館にてなると金時を購入いただいた方に知人を紹介いただき、なると金時をプレゼントする「なるとのおいしいを広げようキャンペーン」を実施した。</p> | 18,076,484 | 18,076,484 | <p>①鳴門ベース（仮称）を通じて流通させた鳴門の産品</p> <p>②創業者数</p> <p>③新規雇用者数</p> | <p>①10品目</p> <p>②1社</p> <p>③10人</p> | <p>①10品目</p> <p>②2社</p> <p>③16人</p> |
| | | |  <p>ナルトベース</p> | | | | | |